

ここふる学校 かい「こ」育て 解説編 ④

カイコの利用① 蚕沙^{さんしゃ}染めをしよう！

草木染の材料とカイコの糞^{ふん}で布を緑色に染めることができます。染めるものの材質や媒染剤^{ばいせん}（色を繊維^{せんい}にくっつけて落ちなくするためのもの）によって仕上がりの色に差が出てきます。ここでは市販の銅媒染剤を使って染めてみました。

★用意するもの

- よく洗った布
（綿・絹・麻・羊毛などの天然繊維）
- ※ポリエステルなどの化学繊維は染まりません。
- カイコの糞（5齢幼虫）
染めたい布と同じ重さ
- 媒染剤^{ばいせん}（鉄・銅媒染剤、ミョウバンのいずれか）
- 鍋
- 目の細かいざるかネット
- 輪ゴム数個、必要な場合はビー玉やボタンなど



① カイコの糞を準備する

とっておいたカイコの糞を乾燥させ、食べ残しの桑の葉^{くわ}を取り除いたものを準備します。

② カイコの糞を煮て色を出す

鍋にカイコの糞と水を入れ、沸騰^{ふっとう}



させないよう 20 分ほど煮ながら糞をつぶし混ぜていきます。すごい色になります。



③ 布を縛る^{しば}

煮ている間に布の好きな場所を輪ゴムで縛りしっかりと巻きます。縛った部分は色がつきません。ビー玉などを入れて巻いてもよいです。

④ 布を濡らして絞る^ぬ^{しば}

③の布を水で洗い、よく絞っておきます。(染めムラをなくすため。)

⑤ 媒染液を作る。

水に媒染剤を入れてよく混ぜておきます。ミョウバンなら水1ℓにつき大さじ1程度。市販の媒染剤は説明書の分量に従います。多めに入れると濃く、少なめに入れると薄く染まります。

⑤ ②の染液を目の細かいザルでこす

※細かいチリが残ると布を洗うのが大変です。

⑥ 染液を温める

⑤の染液に布を入れ、沸騰しないよう火にかける。(10分程度)

⑦ 絞った布を④の媒染液に入れ、よくしみこませる。



⑧ 布を取り出し、水でよく洗う。色が薄い場合は⑥・⑦をもう一度やる。



⑨ 乾かして完成！

布を乾かします。このままでは洗濯すると色落ちしやすいのですが、市販の定着剤などを使うと色落ちしにくくなります。

輪ゴムでしばった所が白い模様になります。色がついた部分はきれいなオリーブグリーンに染まりました。左が羊毛、真ん中がカイコの繭まゆ（絹）、右が綿で、一緒に染めたのに微妙に違う色になっています。タンパク質の方が染まりやすいため、綿よりも絹などのほうが濃い色に染まります。

それにしても、最初にカイコの糞で布を染めようと思った人はすごいですね！

